



No. 73

	人口の動き	
	(7月末)	(8月末)
総人口	10,185人	10,241人
男	4,566人	4,589人
女	5,619人	5,652人
世帯数	2,411戸	2,419戸
転入	40人	67人
転出	13人	13人
(住民登録人口より)		

発行 / 岐阜県川辺町 ■ 編集 / 川辺町役場総務課 ■ 印刷 / 中部印刷KK

秋の味覚を売る

からりと晴れた空は、もうすっかり秋の色です。
 秋といえば、くだものおいしい季節ですが、国道沿いの出店には、ことしもまた味覚の王者ナシをはじめブドウ、クリなどがならびました。みずみずしいナシの味は、歯にしみこむような甘さとして、一番の魅力のようです。



財政事情の公表

町のふところぐあい

町財政状況の公表は、地方自治法の定めにより公表するもので、町条例では毎年二回（二月と八月）に公表することに決められています。これは、町民みなさんに町財政の実態を広く知っていただき、町政に深いご理解とご協力をお願いするものです。

昭和48年度決算（見込）収支状況

昭和48年の4月から12月までの一般会計及び特別会計の予算執行状況については、本年2月20日発行の広報No. 67号で、とりまとめてお知らせしましたが、今回（49年1月～5月）は、前回公表した分も含めた最終的な決算見込みを、大まかにご報告いたします。

表からもわかるように、まず一般会計では当初5億5,753万円であったものが、ことし3月までに8回の補正を行ない、最終予算を6億9,274万円としました。予算

がこのように増加したおもなものは建設事業への投資の拡大があげられますが、昨年末来のエネルギー危機にともない事務費等の経常的経費については極力節約につとめ、道路整備をはじめ社会福祉などの事業は、計画した予算のほとんどを実行しました。そして、収入、支出の差額1,210万円が黒字となって決算できる見込みです。

また特別会計においても、各会計とも黒字決算できる見込みです。

一般会計予算の執行状況（総額）

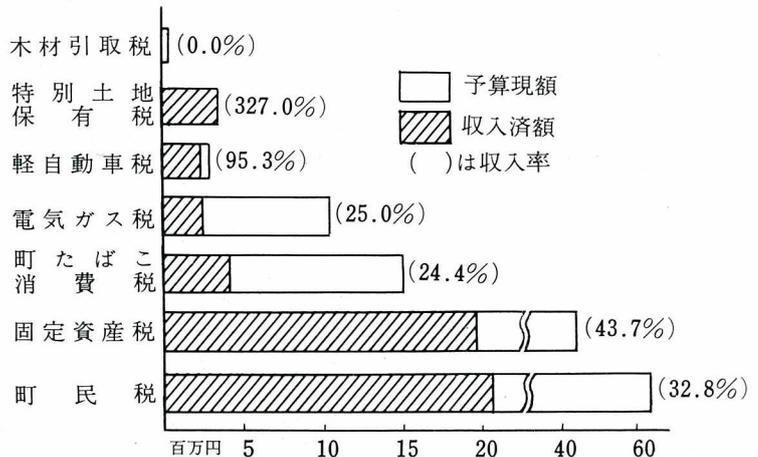
	予 算 額		収 入 ・ 支 出 済 額			予算に対する収入執行率(B)/A
	当 初	現 計 (A)	4～12月	1～5月	計 (B)	
収入	5億5,753 <small>万円</small>	6億9,274 <small>万円</small>	4億3,178 <small>万円</small>	2億1,139 <small>万円</small>	6億4,317 <small>万円</small>	92.8%
支出	5億5,753 <small>万円</small>	6億9,274 <small>万円</small>	3億7,687 <small>万円</small>	2億5,420 <small>万円</small>	6億3,107 <small>万円</small>	91.1%
差引					1,210 <small>万円</small>	

特別会計予算の執行状況（総額）

会 計 名	予算現額 (A)	収 入 済 額			収入率 (B)/A	支 出 済 額			支出率 (C)/A	差引残 (B)-(C)
		4～12月	1～5月	計 (B)		4～12月	1～5月	計 (C)		
国民健康保険計	7,048 <small>万円</small>	5,317 <small>万円</small>	3,000 <small>万円</small>	8,317 <small>万円</small>	118.0%	3,850 <small>万円</small>	2,704 <small>万円</small>	6,554 <small>万円</small>	93.0%	1,763
学校給食共同調理場会計	2,556	1,617	897	2,514	98.4%	1,606	907	2,513	98.3%	1
農業共済事業計	956	504	191	695	72.7%	357	162	519	54.3%	176

町税の徴収状況（6月30日現在）

みなさんのもっとも関心のある税金、町税は6月末現在、町税予算総額の38.5%にあたる5,325万円の徴収がありました。これは、昨年同期にくらべて、約20%増えています。税目別にみた徴収状況は左のグラフのとおりです。



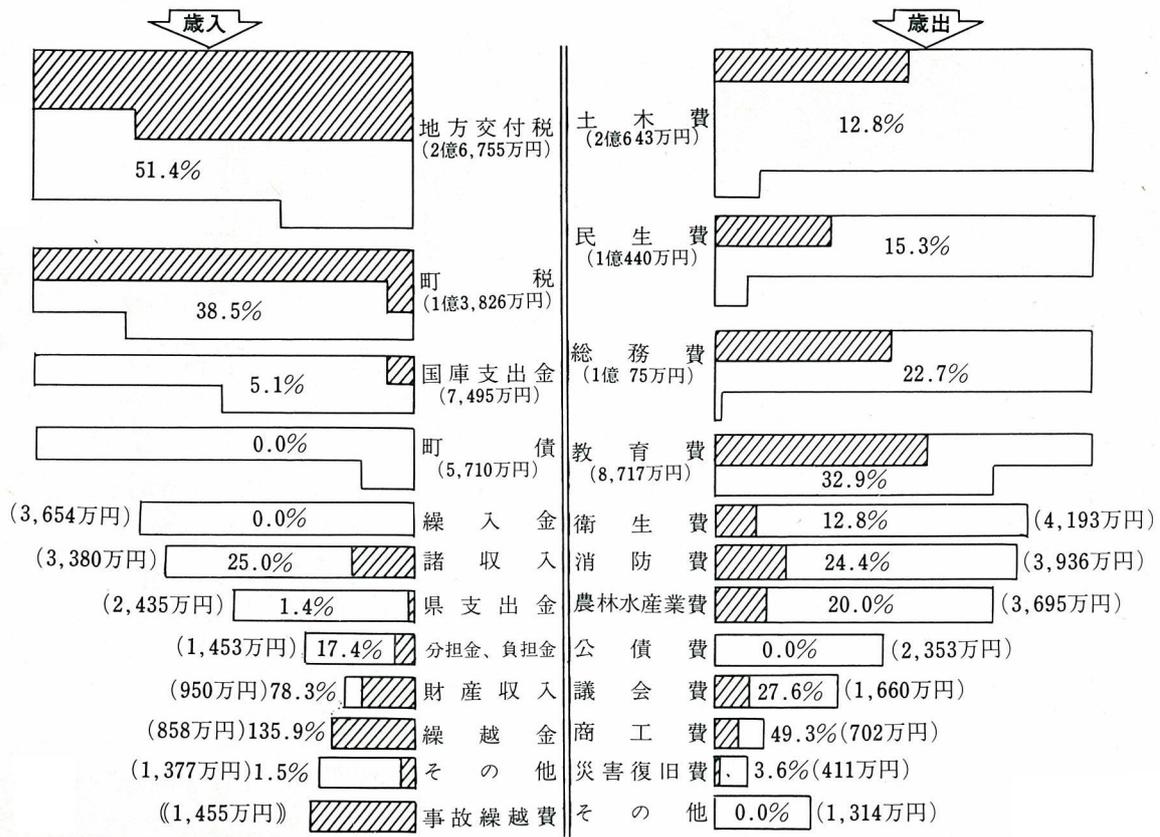
昭和49年度(4~6月)予算執行状況

一般会計の状況

昭和49年度の一般会計予算の総額は、当初6億7,805万円でしたが、6月末に補正予算を組み、328万円を追加し、合計を6億8,133万円としました。

予算の執行状況は下図のとおりとなりますが、このう

ち4月から6月までの収入額は、2億4,172万円で予算総額の35.5%の収入率、支出額は1億2,440万円で、全体の18.3%が使われたこととなります。

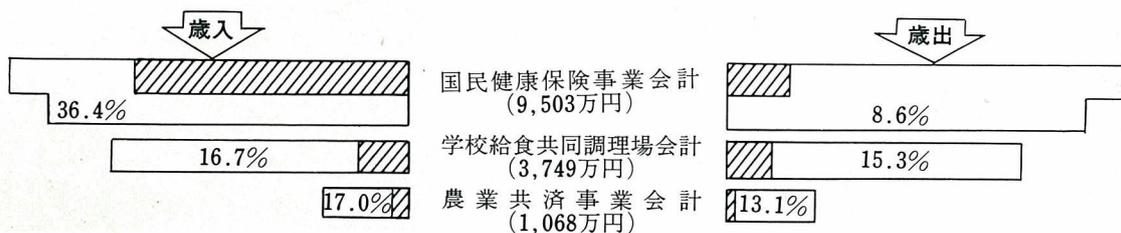


4~6月執行済 ()は49年6月末現在額 執行率=(4~6月執行済額/49.6月末現在額)×100

特別会計の状況

49年4月から6月における特別会計の収支状況は、まず国保会計では3,461万円の収入があり、これは予算現額9,503万円の36.4%にあたり、支出では8.6%の818万円が支出されました。

次に農業共済会計では収入額182万円に対し140万円の支出。また学校給食共同調理場会計では626万円の収入額、573万円が使われました。



説明：一般会計欄と同じ

守られぬ不燃物収集のきまり

袋の中からフトン、プラスチック製品

急速な社会の進展によって、私たちの生活様式は高度化し、それを反映してかゴミは爆発的にふえる一方です。ゴミ戦争、ゴミ公害と世の中はやかましくこの問題を取りあげ、その対策に苦慮しているのが現状です。

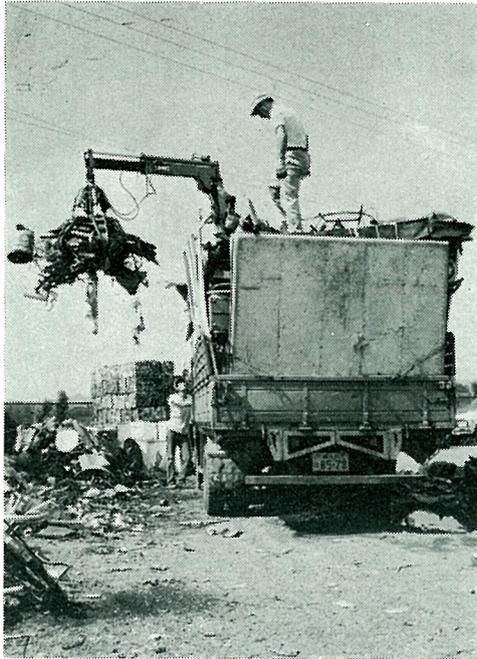
本町においても、この問題については共通の悩みを抱えています。ご承知のように美濃加茂市を中心に加茂郡、可児郡で「可茂衛生センター」を設立、協同事業として処理しています。

そして、この問題については昨年十月発行の広域広報で、くわしく取りあげ、みなさんにお知らせしました。ところが残念なことにゴミを出される場合に、決められたことがまだ守られていないようで、同センターの係員を困らせています。

不燃物の中に燃えるものが混入

不燃物の収集は二ヶ月に一回行なっていますが、収集された袋を

開けてみますと、まったくあきれおぼかりです。指定されたもの以外、たとえばフトン、木箱、プラスチック製品など燃えるものもま



収集された鉄クズの山（可茂衛生センター）

で運び込まれているしまつです。

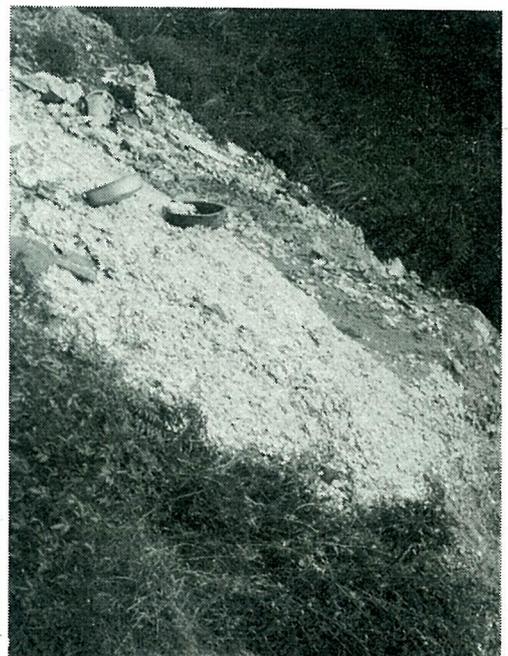
不燃物の収集については、

- ① ガラス類と鉄クズ類とをはっきり区別して袋に入れること
 - ② 荷札に氏名、住所を明記して添付すること
 - ③ 指定の場所へ、収集日の前日までに提出すること。
- となっていないのが、どうして守られていないのでしょうか。

守られない人は

収集しません

可茂衛生センターでは、機械的に処理しているのですから、このように不燃物の中に燃えるものがまじっていたり、ガラス類と鉄クズ類とが区別してないものなどについては、いっさい収集しないことになっています。



このような不法投棄のないよう、お互いに注意して美しい町にしたいものです。

回収されずにいると、いつまでも収集場所に残され、場所を提供していただいた方や、付近の人々にたいへん迷惑をかけるばかりでなく、周囲の美観を損ねることもなくなり、次回からの収集ができなくなります。

収集後、残った袋はその地区で処理

なお、今年度より収集後、その場所に不法な袋などがあつたり付近の人々から苦情があつた場合には、その地区において処理していただくことになりました。

そして、このような事実が年二回以上あつた場合は、それ以後、半年間はその地区は収集しないことになりました。

自分ひとりぐらいは、いいだろうと思つて自己中心のことをされ

ますと自分だけでなく、その地区すべての人に迷惑をかけることになり、ひとりひとりが注意して、収集日がすぎたら提出された袋がひとつも残っていないようにしましょう。

まだ多いゴミの不法投棄

りっぱなゴミ処理施設があるにもかかわらず、まだまだ不法に河川やあき地にゴミを捨てる人もあつて、注意が必要です。

町としても条例を制定し、きびしくしていますが、私たちは社会全体の問題として道徳的に社会のルールを各自が守っていくことこそ必要なことといえます。きれいな町、美しい郷土はみなさんの手によって築きあげられるものです。

進む上水道建設事業

全体計画の3分の1が完了

51年給水をめざす上水道建設事業は、今まですでに全体の3分の1が完了しました。

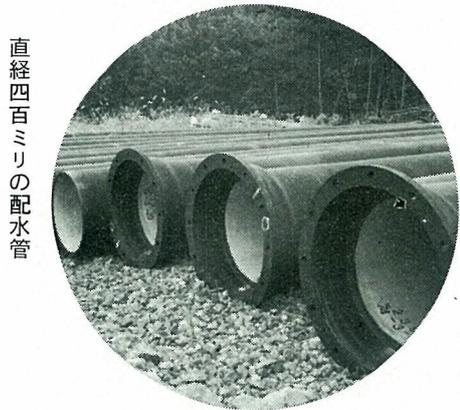
現在進められている工事は、本年度の第一工区、下川辺・西栃井地内の延長5,535mの配水管布設工事で、名古屋市の浅野工事㈱が3,980万円で請負い、7月16日から11月15日までを工期としています。この工事のなかには水管橋一ヶ所、地下式単口の消火栓九基が取り付けられることになっています。



西栃井地内の配水管布設工事



容量2,000tが貯水できる配水池



直経四百ミリの配水管

議会だより

第三回臨時会

一般会計 二千八百万円を追加 予算総額七億九百三十四万円に

第三回臨時町議会は、さる七月二十九日に開かれ、昭和四十九年度一般会計補正予算など、七案件について審議されました。

審議された案件

■中濃体育館組合規約の一部改正について
美濃加茂市に建設された中濃体育館の管理、運営については美濃加茂市、可児郡、加茂郡で組合を組織し、事務の共同処理を行なっています。この中の組織団体で「富加村」を「富加町」に、「七宗村」を「七宗町」に改められました。

■多治見市外、十三市町村の伝染病予防組合規約の一部改正について
伝染病が発生した場合に、隔離病舎の設置や管理または患者の収容や治療に関する事務を、多治見市ほか十三市町村で共同処理していますが、この中の組織団体のうち「富加村」を「富加町」に改正されました。

■可茂消防事務組合規約の一部改正について
本規約についても同じく、「富加村」を「富加町」に改められました。

■可茂衛生施設利用組合規約の一部改正について
この組合の組織団体についても一部改正されました。

■昭和四十九年度一般会計補正予算について
歳入歳出に二千八百万六千円を追加し、予算総額を七億九百三十四万一千円としました。

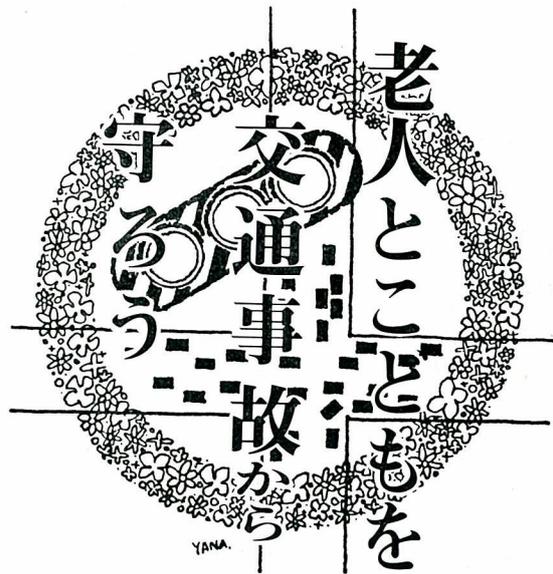
今回の補正は、農林水産施設および公共土木施設の災害復旧事業で、そのおもなものは、
新堀川水路ほか十四ヶ所の国庫災害復旧工事に七百七十五万円、横谷林道など五地区の国庫災害復旧工事に四百二十七万円、県単災害復旧工事に八十三万八千円。

公共土木関係では、神坂線ほか五地区の国庫補助復旧工事に七百五十二万円、きつね洞など二ヶ所の町単工事に三百六十万円、このほか町道の路面復旧工事に百八十万円などとなっています。

■助役の選任について
任期満了にともなう助役の選任について、長谷川仙一氏を再選し、議会において同意を求めました。

■収入役の選任について
任期満了にともなう収入役の選任について、桜井道夫氏を再選し、議会の同意を求めました。

秋の全国交通安全運動 9/21～9/30



九月二十一日から九月三十日まで、秋の交通安全運動がおこなわれます。

交通事故にあり割合は、なんと
いっても老人と子どもです。老人
に愛の手をさしのべ、子どもに正
しい交通マナーをしつけるため次
のことを守りましょう。

老人には

▽正しい歩き方と自転車の乗り方
正しい横断を習慣として、よく
守っていただく

▽横断中の老人には、愛の手をさ
しのべていただく。

▽老人クラブなどで、正しい歩き
方を研修していただく

▽夜間の歩行等には、夜光タスキ
を忘れないように身につけてい
ただく。

子どもには

▽家庭では、親子ぐるみで交通安
全を話し合い、実行していただ
く

▽とくに幼児には、監督をきびし
くして、道路で遊んだり、とび
出しなどしないよう、しつけて
いただく

▽育成会などで、子どもの通学や
遊びの安全を研究していただく
運転者には

安全運動期間中はとくに、老人
と子どもの保護に細心の注意をは

らって、事故につながるような運
転は、絶対にしないよう心がけて
いただく

「愛のひと声」で
交通事故防止

子どもが交通事故にあり危険の
ある遊びをしているときは、「愛
のひと声」で注意をし、事故をふ
せぎましょう。

子どもが無心に遊ぶときは、つ
い危険なことも忘れてしまってい
るのです。そんなときに起りやす
いのが事故です。事故の中でも交
通事故が代表的なものといえま
しう。

子どもが危険と思われる遊びを
しているときは、

「道路で遊んではいけませんよ」

「とび出しはいけません」

「右側を通りなさい」

「自転車は左側よ」

「ななめ横断は危険ですよ」

などと、その場その場で注意を
あたえていただくことが事故の防
止に役立ちます。

これは、自分の家の子だけでな
く、あぶないと思えば、よその子
でもえんりよなく注意することが
親切というものです。

あとになって、「あのとき注意
しておけばよかった」と、思っ
ても、もう取りかえしがつきませ
ん
うちの子、よその子を問わず、
「愛のひと声」で交通事故を防ぎ
ましょう。

知事選・県議補欠選

投票日は9月29日

午前7時から午後6時／投票時間

岐阜県知
事の任期満
了による選
挙は、九月
四日に告示
され、九月
二十九日
(日曜日)
投票と決ま
りました。

県知事は
町でいえば
町長と同じ
で県政のす
べてを行な
う重要な役
目があり、
この選挙は
私たちにと

ってたいせつなものです。
知事の重要な役目をよく認識し
て、みんなそろってりっぱな知事
を選びたいものです。

また、県議会加茂郡選挙区の補
欠選挙は九月十七日に告示、投票
は知事選と同様、九月二十九日に

行なわれます。
みんなそろって、悔いのない一
票を投じましょう。

投票時間
さる七月に行なわれた参院選
の投票時間は、特例として一時
間延長されましたが、こんどの
選挙は従来にもとって、朝七時
から夕方六時までとなっていま
すから、まちがいのないよう
にして下さい。

投票所

今までの選挙と同じく、町内
八ヶ所です。

不在者投票

次のような事由によって投票
当日に投票できない方は、投票
前日の九月二十八日、午後五時
まで不在者投票ができますから
印かんをもって町選挙管理委員
会へおこし下さい。

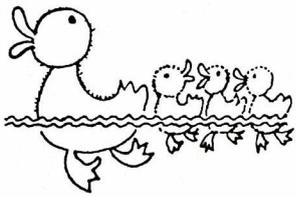
▽長期の出張や出稼ぎ等のため、
町外で職務や事務に従事の中
と
き

▽やむを得ない事由や事故のため
町外へ旅行中または滞在中であ
るとき

▽病氣、負傷
妊娠、産じ
よく等で投
票当日、歩
行困難であ
ることが予
想されると
き



岐阜県選挙管理委員会・明るい選挙岐阜県推進協議会



「一日里親」を テレビ放映

一龍洞寺でロケ

現在、県下には9つの養護施設があり、これらの施設には孤児、棄児、貧困家庭児、親権を失った親の子、被虐待児などが収容されています。これら家庭をもたない子どもらにとって、もっとも大切なものは暖かい家庭環境です。

しかし、いかにこれらの施設を充実しようとも、そこには限界があります。この点で、恵まれない児童を家庭に預って、暖かい家庭の雰囲気の中で育てる里親は、子どもらにとってもっとも望ましいものでありましょう。

県では、こうした里親制のもつよさをPRするため、県政テレビ映画「明るい郷土」の番組名の中で「里親」というテーマで放映することを企画しました。

そして、その一部がさる8月26日、本町比久見の龍洞寺（児島護保住職）でロケされました。1日お父さん、お母さんとして実施される「一日里親」で、子どもたちの喜びにあふれた表情をとらえ、また実際に里子として引きとられ、成長した人も紹介されます。

このように
CBCテレビ 9月29日（金）
午前10時15分～10時25分
名古屋テレビ 9月26日（木）
午前10時5分～10時15分
でそれぞれ放映されますから、みなさん、ぜひ見て下さい。

受け継がれる諏訪神社の伝承

福島に青少年郷土芸能講座を開設

青少年活動の重要性は、いまや大きく叫ばれています。本町福島地区では、健全な青少年の育成に何かそのきっかけをつかもうと「郷土芸能夏季講座」を開設しました。

これは、福島地区内の男子中学生を対象に、場所を福島公民館に設けて、八月五日から十七日までをその講座期間としました。

この開設のねらいは、数百年来の貴重な伝承を受け継がれてきた諏訪神社の祭ばやしの保存が、時代の変遷とともに後継者が少なくなったことを考え、これを青少年活動の中にとり入れて郷土愛好の輪を広げ、青少年活動の中核にしようとするものです。

講座の指導者には、諏訪神社祭

ばやし保存会役員の地元の方二名がこれにあたられました。

そして、開設に先立っては組長さん、保存会、それに生徒の両親の理解と協力が必要であり、またさまざまな心配もあったということです。

しかし、いざ開設してみると思ったほどの心配もなく、両親の深い理解はもとより、とくに保存会の方は仕事で忙がしいところを毎日出席され、懇切、熱心に指導されました。

なかでも祭笛は、市販のものはきわめて少ないうえに高価であるところから、区の費用ではとても何本も購入できない状態でした。それを会の方たちは多忙な仕事のあいまをぬって十名受講生全員

に一本つつの笛を作って与えられるなど、そのご奉仕もたいへんなものでした。

五里霧中ではじめてこの講座は生徒もほとんど出席して練習に励み、指導者と受講者が一体となって、この講座は日を追うごとにますます熱がはいってき

ました。そして、これを夏の期間だけにとどめることは惜しいというところから、年間を通して定期的に練習を続けることになり、それゆえ最初のねらい通り、通年活動へ導くことができ

たのはこの上ない喜びでしょう。

願わくば、これが青少年自らの手で自発的に運営され、つきつきと形式、内容ともに輪を広げより充実された青少年活動として、今後の発展を期待したいものです。



「諏訪神社の祭ばやし」の練習に励む受講生

税 知 識

登録免許税

所有権移転登記は5%
所有権保存登記は0.6%

土地を買ったり家を新築したときは、所有権の取得に関する登記をしますが、その登記の際にかかる税金が登録免許税です。

売買による所有権移転登記の場合は、不動産価格の5%新築家屋の所有権保存登記の場合は、不動産価格の0.6%の税率でかかります。この不動産価格は原則として、役場に備えてある固定資産課税台帳に記載されている評価額によることになっています。

なお、個人が新築した住宅の保存登記や新築の建売住宅の所有権移転登記で、次の要件にあてはまるものは、それぞれ税率が0.1%になります。

- ▽昭和五十年三月三十一日までに取得した住宅であること。
- ▽自分の住宅として使うこと
- ▽新築後一年以内の登記であること。
- ▽家屋の床面積が、一六五平方メートル以下であること。

動物愛護週間

動物愛護の意味を考えよう

九月二十日から二十六日まで、動物愛護週間です。この運動は、私たちひとりひとりが動物についての関心と理解を深め、すべての動物に愛情をもって接し、すすんで動物たちをいつくしみ守ってやろうという呼びかけの運動です。私たちの身近かな日常生活の中で、おもしろ半分には、おもしろ半分にチヨウヤトンボの類を殺したり、犬やねこなど日ごろ比較的たいせつにし、親しんできたものを不必要にいじめたり、捨てたりする行為がたくさん見かけられます。

私たちはこの週間に、本当の意味の動物愛護とはどういうことか。なぜ、動物を愛護しなければならないのかというをよく考え、反省し、人と動物とがお互いにいたわりあい、助けあっているようにしたいものです。

動物を愛護する心は、人を愛する心に通じます。動物を愛するやさしい心は、やがて動物だけでなく、生命を尊び、いたわりの心に発展して平和で豊かな人間社会を築いていく基となります。

私たちは、すすんで動物をいつくしみ、守ってやるように努めましょう。

9月はガン征圧月間

何より早期発見 早期治療を

ガンとは、一口にいえば悪性のしゅよう(たちの悪いおでき)で、その原因については、どのような事情でこのような、たちの悪いおできが体内にできるのか、現在はまだ解明されていません。それゆえ、進行して体の部分へ移転してからでは手術しても治りにくいこととなります。

したがって、早く発見して、早く治療することが何よりたいせつなことです。

《ガンの危険信号》

- 胃のぐあいが悪く、食欲がなく、好みが変わったりしないか。(胃ガン)
- おりものや不正出血はないか。(子宮ガン)
- 乳房の中にシコリはないか。(乳ガン)
- のみこむときに、つかえることはないか(食道ガン)
- 便に血や粘液がまじったりしないか。(大腸ガン、直腸ガン)
- セキが続いたり、タンに血がまじったり声がかすれたりしないか。(肺ガン、こうとうガン)
- 治りにくい潰瘍(かいよう)はないか。(舌ガン、皮膚ガン)
- 尿の出がわるかったり、血がまじったりしないか。(腎臓ガン、ぼうこうガン、前立腺ガン)

九月は、老人福祉月間です。私たちは、これを契機に老人の福祉についての関心と理解を深め、さらに老人が自らの生活向上の意欲を高めるよう協力してあげねばなりません。

老人は社会的、経済的また家庭的にも、つねに弱者の地位におかれることが多く、生活も意外と不安定です。

老人に対する人権侵犯例をみる

と、老人が家族から養護に手数がかかるために、じやま者扱いされ世代の相違からくる意見のくい違いで親子間に不和を生じ、子から虐待をうけたりするケースが多くあります。

さらに身寄りがなく、ひとりさびしく暮らしている老人に対する世間の目も、必ずしもあたたかいとはいえません。

老人の人権が完全に護られ、老

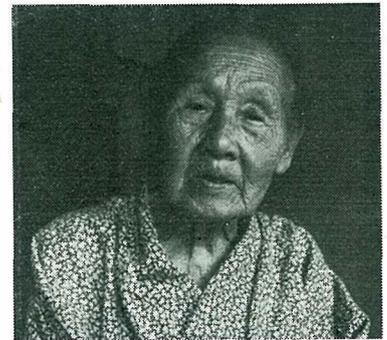
人が安楽な生活を送ることができるようするには、今後なお国民ひとりひとりの自覚と努力にまたねばならぬところが大きく、老人に対するあたたかい思いやりと、老人の人権擁護活動についての国民の協力が強く望まれます。

老人扶養に対する法律のたてまえは、親族間の扶養が優先することを定めています。

すなわち、親が老令で自力で生活できなくなつたとき、子、孫や兄弟姉妹、長男、次男はもちろん結婚した娘も扶養の義務を負わされています。

しかし、あくまで夫婦間や子どもに対する扶養と同様に、人間的な自然の感情をもとにしています。自分たちを愛し、養育してくれた親に対し、感情をこめて家族のなかに迎えるあたたかい気持ちをいつももちたいものです。

老人福祉月間によせて お年よりに 暖かい 思いやりを



本町最高齢者平岡よふさん (石神95才)

おしらせコーナー

- ▽町教育委員会では、こんど明治生まれの方々を対象とした、「明治学級(高令者大学)」を新設し、次のような計画をたてみなさんの入級をお待ちしています。
- ▽期間 回数、九月より三月までに四回開催
- ▽実施場所 縦庫会議室
- ▽学習内容 第一回は、老人の健康法について加茂保健所長から講演の予定です。
- ▽学習時間 午後一時〜三時
- ▽募集人員 64歳以上の健康な男女50名
- ▽申し込み書に所要事項を記入して、町教育委員会へ提出。

特別福祉手当 制度について

重度の身体障害(身体障害一〜二級の障害程度)と、重度の精神薄弱(障害福祉年金一級の障害程度)が重復しているため日常生活において、常に特別の介護を必要とする者を、新たに「特別障害者」として、九月から特別福祉手当が支給されることになりました。

手当月額は、特別障害者一人につき三千円で障害者を監護する父母等に対して支給されます。この制度について、詳しいことは住民課へおたづね下さい。

明治学級の 入級案内

カメラルポ



町婦人会下川辺支部の方たちは、さる8月9日、下川辺地内の国道41号線のパーキングの清掃奉仕をされました。一部の心ない人たちによって放置された空かん、びんなど6袋を収集。この奉仕活動は、何よりも勝る美化運動の実践であると思います。



町子ども会育成協議会では、7月21日キャンプ場整備の勤労奉仕をされました。場所は山楠の水道山近くの町有林で、この日40数名の方たちによって行なわれ、暑さの中の尊い汗の奉仕作業で、りっぱな施設となりました



町こども育成会連絡協議会主催による、第3回こども会親善ソフトボール大会は8月10日、中部中グラウンドで行なわれました。照りつける太陽のもとで、こどもたちは白熱したゲームを展開。比久見上が優勝しました。

よい環境で 健全な心身を

—子ども会—

子ども会は、同じ地域に住んでいる子ども達が集まって、自分達の手で計画したいろいろな活動を通して、新しい時代のない手にふさわしい人間となるため、研修するための団体です。
子どもは、遊びなかまを求め、遊びを通じて社会の一員として必要な知識、技能および態度を学ぶものです。しかし現在の子どもをとりまく環境は、子ども達から遊

びをとり上げてしまいたいような傾向にあります。こうしたときに集団で遊ぶことの楽しさを味わせることから、より価値の高いめあてのもとに仲よく助けあって活動させなければなりません。
地域みんなの目で見守り、よその家の子にでも遠慮なくシブプを——。子どもは心身ともに未熟であり、その健全な発達をとげるためには、おとなが側面からこれを援助し指導してやらなければなりません。この場合、第一の責任者は親であります。親以外の家族や社会のすべてのおとなが、その一部を分担することも必要であると思えます。
ところで、一般にわが子のことになると熱心に監護もし、指導も

するものですが、それがよその家の子となると、わりあい無関心になりがちです。
「自分の子は自分で育て、思うように指導していくから、他人からとやかくいわれたくない」、といったふうの、閉鎖的な考えをもつ向きも多いようです。
こういった考えをもった親がいる限り、その地域は子ども達にとって幸せな環境とは、なり得ないと思えます。だから親たちは、わが子中心のせまい考え方から脱皮して、「子どもは、地域みんなの目で見守るもの」として、子ども会の意義をじっくりふん考え、川辺町の未来を築く健全な子どもを、育てていきたいものです。

ゲームをやって楽しいひととき



社

会

教

育

の

ひ

ろ

は

おしらせコーナー

県職員募集 のおしらせ

県では、四十九年度の県職員を次により募集しています。受験希望の方は、県人事委員会事務局または県事務総務課にて、申込用紙を請求し、必要事項を記入のうえ、県人事委員会事務局へ提出して下さい。

▽試験区分と採用予定人員

事務(A) 約20名(女子)

事務(B) 約40名(男子)

土木

農業土木 若干名

林業

▽受験資格 昭和二十四年四月二日から昭和三十二年四月一日までに生まれた者で、学歴は問いません。

▽受付期間 昭和四十九年九月二十一日の午前八時三十分から午後五時十五分まで(土曜日は十二時三十分まで)

▽試験の日時と場所

(第一次試験) 昭和四十九年十月十三日、午前八時三十分から岐阜ほか二地区で実施
(第二次試験) 昭和四十九年十一月下旬、岐阜市において作文試験など実施。

このほか詳しいことは、県人事委員会へおたずね下さい。

心配ごと相談

こんどの相談日は、九月十八日下麻生支所で行ないます。



—⑧— (資料提供—龍洞寺)

物見に行った者が帰って報告するところによると、城内は手薄のようすである。「いざ」と合図の声に一同、体をふるわせ



水に流しても
水は流さないで

蛇口をひとひねり、水を一分間出し放しにすると、石油カン(18リットル)に八分目ほどもたまりません。ほんのひとひねりが、実はたいへんな損に。

湯水のごとく
使わないで

風呂の残り湯はすぐ流さないで洗濯に利用しましょう。新しい水を使うよりも、約30リットル節約できます。(七月中の届け出)

わたしたちの作品

過ぎ去りし 樂しき月日は 短くも 深く心に 今に残るる 鈴木奈津夫

思い出は かたみとなつて 今朝咲きしうすくれないの 鹿の子はいとし 栗山 米子

刈る麦の なき麦秋の 田に佇ちて 痛みのとれし 手に歟握る 馬場美代子

墓築きし 人人いずこ 石棺は あはかれてあり 歴史館の庭 馬場 周一

いくばくも なき世と想えば 奔放に 暮し給へと 父の掌を見る 山田 君子

夏の夜の 涼を求めて たく花火 子等の瞳の中にもゆゆる 仲田 繁子

人間の みにくき知りし 日惜しげなく 花を手折りて ぞの香に酔いぬ 横山 寿子

今日一日 梅雨の晴れ間と 予報云う 窓開け放ち 髪をととのふ 岩井三千代

藍の香のた だよう部屋に 息の丈を 思い起しつ 針を運びぬ 長瀬 宗子

雷鳴の 遠くなりたる 工場に 火花するどく 鉄をきる音 肥田 良三

痛臭の 籠れる部屋に 生きんとす 夫を見つむる 刻長かりき 肥田 千里

鉄もて しばしたためらふ 紫陽花の 初咲二輪 滴光りて 松岡 久美

耕耘機の 音さわやかに 渡り来ぬ 客まばらなる 小さき駅に 紅谷 茂

とにかくも 味噌汁の味 恋しと云う 息の来る朝 厨刃明るし 赤坂富美子

ふる里の 祭りに行きたき 心押え 苺摘みつつ 汽車を見送る 佐伯 陽子

うつうつと 日日重ねたる 我が思い 梅雨のはしりか 晴れる間もなし 池田 知子

植え替えし 松の緑を 気遣いぬ 義父のかたみと 夫は語りつ 遠藤 正枝

て勝ちどきの声を上げると、白明のしじまを破ってひびく叫び声は千じんの滝音のようにゴウゴウと天に響き、こだまして地にひびき四方の山も崩れ、川もわき返えるばかりであった。ただちに、馬にまたがった数百騎の軍勢が手に手に、二本ずつのたい松をかざして進撃すれば、ほの暗い木の間に火の絵模様となってゆらめきその数は二倍以上に見えた。

福島の城中では、ちょうど七日前に奥方が男の子を生まれ、家中の者は祝儀の酒に酔いしれ、ようやく退出しようとするところであった。そのとき諏訪の段あたりから、ものものしい音が聞えたので注意深く気を配って、裏山の方を眺めれば、旗差物から見覚えのある兼山勢だとわかった。

突然のことで備えもなく、敵に對しても勝ち目はないと考えられたので、支蕃尤は急いで白糸おどしのよろいを身につけ、すぎ形打ったかぶとを頭にのせ、馬を引かせ家臣の伊藤忠助が生まれて間もない朝日鷹君を抱き、奥方の手をとった。そして、主従打ち連れて加茂山の城をのがれ出た。髪垂れの式を終えたばかりの幼児は、なにごとも知らず、忠助の腕の中でスヤスヤ寝息をたてていた。

さて、城内では警戒にあたるために残った武士が防戦に努めていた。なかでも黒糸おどしのよろいを身につけ、繁藤の弓を手にした武者の働きは、ひとときわ人目をひくほど、さつそうたるものであった。その男は小高い所いかけよると、強弓をふりしほり、矢つぎばやに敵の影と認めると射かけたが、あだ矢はほとんどなく、いくつかの黒い人影が谷間に消えていった。

さすがの兼山勢も攻めあぐんで弱みを見せると、その男は大声をはりあげ、敵勢の方へ向い「われこそは、肥田玄蕃允の家にもその人ありと知られた、各務小左エ門というものである。かねてから知っていたいた人もあらう。いざ近よって、刀の刃を試したまえ」と、叫んだ。

おめでた おくやみ

(七月中の届け出)

〔出生〕

(ご成長お祈りします)

- 上川辺 白村 善人 宝成 長男
 - 石神 村瀬 里子 真之 長女
 - 西橋井 杉島 禎治 優 長男
 - 下川辺 桜井美智子 勝美 二女
 - 比久見 小原 嘉則 文昭 長男
 - 鹿塩 横山 弘典 利彦
 - 加藤 重信 武秀
- 〔死亡〕
- 謹んでおくやみ申し上げます
 - 下麻生 酒向 康子 47歳
 - 石神 加藤貞次郎 88歳
 - 中川辺 渡辺 てる 96歳
 - 鹿塩 横田とめへ 77歳

(八月中の届け出)

〔出生〕

(ご成長お祈りします)

- 上川辺 坪内 芳憲 寛司 長男
 - 佐伯 英代 善市 三女
 - 武市 晃可 義博 長男
 - 中川辺 遠藤 雄一 照雄 二女
 - 木下 恵美 昌美 二女
 - 福島 小森 直樹 武 二男
 - 比久見 稲葉 陽子 政勝 長女
 - 加藤 環 孝臣 二女
- 〔死亡〕
- 謹んでおくやみ申し上げます
 - 上川辺 山口 かね 89歳
 - 中川辺 井上 升一 77歳
 - 西橋井 中村 喜平 74歳
 - 鹿塩 井戸かなる 75歳
 - 比久見 有本 裕美 2歳
 - 下吉田 馬場 弘 57歳